

広島市植物公園 見どころ案内

ウメ・冬至(とうじ)

(バラ科)

中国原産の早咲き品種。冬至のころから、白い一重の花を咲かせるためこの名がつけました。今は一分咲きです。

対面にあるのは、早咲き紅梅品種‘八重寒紅(やえかんこう)’で、開花が始まりました。

ヤマコウバシ

(クスノキ科)

落葉樹ですが、春先まで葉が枝に残るため、合格祈願「落ちない葉っぱ」として当園入口の売店で販売しています。

ソシンロウバイ

(ロウバイ科)

中国原産。冬の寒い季節にいち早く、葉が出る前に黄色い花を咲かせています。ロウバイの変種で香りが強く、花が大きい。

シナマンサク

(マンサク科)

中国原産。ねじれたリボンのような黄色い花弁を日本のマンサクより早く、枝いっぱい咲かせます。ほかの園芸品種も少しずつ咲き始めました。

ヒイラギナンテン

(メギ科)

中国原産。園芸品種‘チャリティー’が華やかな黄色い花の房をつけています。

ウメ・紅冬至(こうとうじ)

(バラ科)

ウメ園で最初に咲く早咲き品種。薄紅色の花が咲き始めました。

カカオ (アオイ科)

熱帯アメリカ原産。赤褐色の実が幹に直接ついています。これがチョコレートやココアの原料になります。

カカオとチョコの秘密展

～2月15日(日)

チョコレートの歴史や作り方などをパネルで解説、チョコの原料(カカオニブ、カカオマス)やチョコレート製品を展示しています。

ハンギング

バスケット

カスケード壁面に3つの巨大ハンギングバスケットを展示。今回はストック、ユーカリ、ツタ、シロタエギクなどを使った冬バージョンに仕上げ、ピオラでハートを作っています。

[日本ハンギングバスケット協会 ハンギングバスケットマスター作]

クリスマスローズ

(キンポウゲ科)

白、緑、紅などに色づいています。

植物日本画展

～2月26日(木)

四季折々の植物の姿を描いた日本画を展示しています。

[展示資料館1階展示室にて]

